



## コール ピックアップ

---

コール ピックアップ機能を使用すると、自分の電話番号以外の番号に着信したコールに応答できます。これらの機能については、[P.5-2](#)の「[コール ピックアップの概要](#)」で説明します。

ここでは、次のトピックについて説明します。

- [コール ピックアップの概要 \(P.5-2\)](#)
- [コール ピックアップのシステム要件 \(P.5-12\)](#)
- [インタラクションおよび制限事項 \(P.5-14\)](#)
- [コール ピックアップのインストールとアクティブ化 \(P.5-17\)](#)
- [コール ピックアップ機能の設定 \(P.5-17\)](#)
- [コール ピックアップ グループの設定 \(P.5-26\)](#)
- [関連項目 \(P.5-34\)](#)

## コール ピックアップの概要

Cisco Unified IP Phone (SCCP および SIP 用) では、コール ピックアップ、グループ コール ピックアップ、他グループ コール ピックアップ、ダイレクト コール ピックアップ、BLF コール ピックアップ、および自動コール ピックアップといった各タイプのコール ピックアップをサポートしています。

次の情報は、すべてのタイプのコール ピックアップに適用されます。

- アイドルおよびオフフックのコール状態では、[ピック]、[G ピック]、および [他 Grp] の 3 つのソフトキーが使用可能になります。管理者は、ユーザがコール ピックアップ機能呼び出せるよう、これらのソフトキーを標準ソフトキー テンプレートに追加する必要があります。[P.5-17](#) の「[コール ピックアップおよびグループ コール ピックアップの設定チェックリスト](#)」、[P.5-19](#) の「[他グループ コール ピックアップの設定チェックリスト](#)」、および [P.5-21](#) の「[ダイレクト コール ピックアップの設定チェックリスト](#)」を参照してください。
- ユーザは、コールが着信していない電話機からコールを受けるためにコール ピックアップ機能呼び出すと、「ピックアップできるコールがありません」というメッセージを受け取ります。ユーザがコール ピックアップ機能呼び出し、コールを受けるように設定されていない DN から呼び出し中のコールを受けると、リオーダー音が聞こえます。
- コール ピックアップは打診転送コールで動作します。次のシナリオは、1 つの例を示しています。ユーザ A がユーザ C にコールを発信し、ユーザ C が応答します。ユーザ C は [転送] キーを押して、電話機 D にダイヤルします。ユーザ E は、電話機 D の呼び出し音を聞き、コール ピックアップ機能を使用して、電話機 D で呼び出し中のコールを受けます。ユーザ C が再び [転送] キーを押すと、ユーザ A とユーザ E が接続されます。また、コール ピックアップは、電話機 D がコールを受けるか、またはユーザ E がコール ピックアップ機能呼び出す前に、ユーザ C が [転送] キーを押した場合にも動作します。
- コール ピックアップ機能は、アドホック会議コールで動作します。次のシナリオは、1 つの例を示しています。ユーザ A がユーザ C にコールを発信し、ユーザ C が応答します。ユーザ C は、[会議] キーを押して、電話機 D に打診コールを発信します。ユーザ E は電話機 D の呼び出し音を聞き、コール ピックアップ機能を使用して電話機 D で呼び出し中のコールを受けます。その後、ユーザ C が再び [会議] キーを押すと、ユーザ A、ユーザ C、およびユーザ E がアドホック会議に接続されます。また、コール ピックアップ機能は、電話機 D で呼び出し中のコールをユーザ E が受ける前に、ユーザ C が 2 回目の [会議] キーを押した場合にも動作します。
- サービス パラメータ `Auto Call Pickup Enabled` が [False] に設定されている状態で、DN C で呼び出し中のユーザ A からのコールを受けるためにユーザ E が正常にコール ピックアップ機能呼び出したとします。ユーザ E は、`Call Pickup No Answer Timer` に指定された期限が切れる前にコールを受けませんでした。この場合、ユーザ A からのコールは復元され、DN C での呼び出しが続行されます。
- ユーザは、コールを受けるための空き回線がある場合にだけ、コール ピックアップ機能呼び出すことができます。ユーザの回線が保留中のコールでビジーである場合は、「ピックアップできる回線がありません」というメッセージがディスプレイに表示され、元のコールは送信先番号の呼び出しを続行します。

コール ピックアップの各タイプの詳細については、次のトピックを参照してください。

- [コール ピックアップ \(P.5-3\)](#)
- [グループ コール ピックアップ \(P.5-3\)](#)
- [他グループ ピックアップ \(P.5-3\)](#)
- [ダイレクト コール ピックアップ \(P.5-4\)](#)
- [BLF コール ピックアップ \(P.5-9\)](#)
- [自動コール ピックアップ \(P.5-10\)](#)

### 追加情報

[P.5-34](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

## コールピックアップ

コールピックアップ機能を使用すると、ユーザは、本人が所属するグループ内の着信コールを受けることができます。Cisco Unified Communications Manager は、ユーザが Cisco Unified IP Phone からこの機能をアクティブにしたときに、適切なコールピックアップグループ番号を自動的にダイヤルします。このタイプのコールピックアップには、[ピック] ソフトキーを使用します。

コールピックアップ機能は、自動コールピックアップが有効か無効かに関係なく動作します。詳細については、P.5-10 の「自動コールピックアップ」を参照してください。

### 追加情報

P.5-34 の「関連項目」を参照してください。

## グループコールピックアップ

グループコールピックアップを使用すると、ユーザは、別のグループ内の着信コールを受けることができます。ユーザは、Cisco Unified IP Phone からこの機能をアクティブにするときに、適切なコールピックアップグループ番号をダイヤルする必要があります。このタイプのコールピックアップには、[G ピック] ソフトキーを使用します。

複数のコールがピックアップグループに着信している場合にグループコールピックアップ電話機能呼び出すと、ユーザは、呼び出し時間の最も長い着信コールに接続されます。



(注) コールピックアップ機能とグループコールピックアップ機能の設定手順は同じです。グループコールピックアップ番号は、回線または電話番号に適用されます。

グループコールピックアップ機能は、自動コールピックアップが有効か無効かに関係なく動作します。詳細については、P.5-10 の「自動コールピックアップ」を参照してください。

### 追加情報

P.5-34 の「関連項目」を参照してください。

## 他グループピックアップ

他グループピックアップ機能を使用すると、ユーザは、本人が所属するグループに関連付けられたグループ内の、着信コールを受けることができます。Cisco Unified Communications Manager は、ユーザが Cisco Unified IP Phone からこの機能をアクティブにしたときに、関連付けられたグループ内の着信コールを自動的に検索して、コール接続を確立します。このタイプのコールピックアップには、[他 Grp] ソフトキーを使用します。

関連付けられたグループが複数存在する場合、関連付けられたグループへのコールに応答する際の優先順位は、関連付けられた最初のグループから最後のグループまでの順になります。たとえば、グループ A、B、および C がグループ X に関連付けられており、コールに応答する際の優先順位がグループ A、B、および C の順になっているとします。グループ A の着信コールよりも前にグループ C にコールが着信している可能性があります、グループ X は最初にグループ A の着信コールを受けます。



(注) 通常、同じグループ内で複数の着信コールが発生した場合は、呼び出し音が最も長く鳴っている（呼び出し時間が最も長い）コールが最初に応答されます。他グループ コールピックアップの場合、関連付けられたピックアップグループが複数設定されているときは、呼び出し時間よりも優先順位が優先されます。

他グループピックアップ機能は、自動コールピックアップが有効か無効かに関係なく動作します。詳細については、[P.5-10](#)の「[自動コールピックアップ](#)」を参照してください。

#### 追加情報

[P.5-34](#)の「[関連項目](#)」を参照してください。

## ダイレクトコールピックアップ

ダイレクトコールピックアップ機能を使用すると、ユーザは、[G ピック] ソフトキーを押して、呼び出し中のデバイスの電話番号を入力することで、DN で呼び出し中のコールを直接受けることができます。Cisco Unified Communications Manager は、関連付けられたグループメカニズムを使用して、ダイレクトコールピックアップ機能呼び出しで着信コールを受けるユーザの特権を制御します。ユーザに関連付けられたグループによって、ユーザが所属するピックアップグループに関連付けられている1つ以上のコールピックアップグループが指定されます。

ユーザが呼び出し中のコールを直接DNから受けるには、ユーザの関連付けられたグループに、DNが所属するピックアップグループが含まれている必要があります。2人のユーザが2つの異なるコールピックアップグループに所属しており、ユーザの関連付けられたグループに相手のユーザのコールピックアップグループが含まれていない場合、これらのユーザはダイレクトコールピックアップ機能呼び出しで互いのコールを受けることができません。

ユーザがダイレクトコールピックアップ機能呼び出し、着信コールのピックアップ元のDNを入力すると、ユーザは、DNが所属するコールピックアップグループの中で呼び出し時間の最も長いコールであるかどうかに関係なく、指定した電話機への着信コールに接続されます。

複数のコールが特定のDNを呼び出し中で、ユーザがダイレクトコールピックアップ機能呼び出しでそのDNからコールを受けると、ユーザは指定したDNで呼び出し時間が最も長い着信コールに接続されます。

ダイレクトコールピックアップ機能は、自動コールピックアップが有効か無効かに関係なく動作します。詳細については、[P.5-10](#)の「[自動コールピックアップ](#)」を参照してください。

#### 追加情報

[P.5-34](#)の「[関連項目](#)」を参照してください。

### ダイレクトコールピックアップの例

次の例では、ダイレクトコールピックアップのさまざまなシナリオを示します。

#### 基本的なダイレクトコールピックアップ

このシナリオは、ダイレクトコールピックアップを示しています。図5-1に示すとおり、次のように設定されます。

1. 作成される3つのピックアップグループは、グループ番号111、222、および333から構成されます。
2. ピックアップグループ222には、その他のピックアップグループとして111および333を指定するアソシエーショングループが含まれます。
3. 電話機CのDNは、ピックアップグループ111内の1000に指定されます。
4. 電話機EのDNは、ピックアップグループ222内の2000に指定されます。

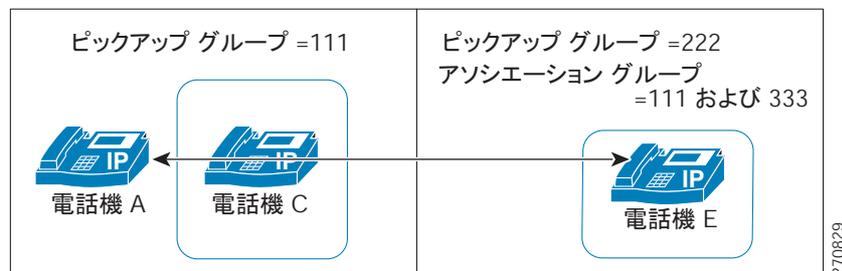
図5-1 基本的なダイレクトコールピックアップの設定



5. ユーザAが電話機Cにコールを発信し、電話機Cで呼び出し音が鳴り始めます。
6. ユーザEが[Gピック]ソフトキーを押し、電話機CのDN、つまり1000を入力します。
7. 電話機Aと電話機Eが接続され、電話機Cの呼び出しが停止します。

図5-2は、ダイレクトコールピックアップが完了した後の電話機Aと電話機Eの接続状態を示しています。

図5-2 基本的なダイレクトコールピックアップの完了

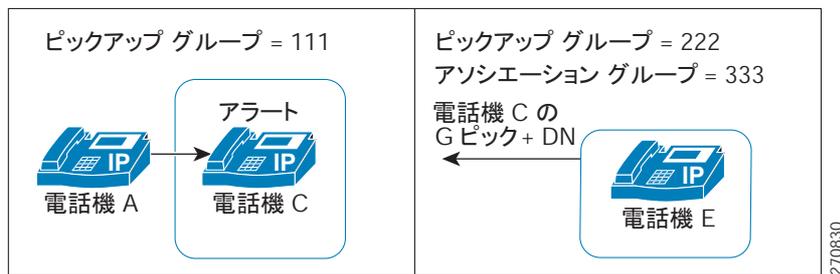


### ダイレクト コール ピックアップ制御メカニズム：拒否の例 1

このシナリオは、ダイレクト コール ピックアップの試行が拒否される場合の制御メカニズムを示しています。図 5-3 に示すとおり、次のように設定されます。

1. 作成される 3 つのピックアップ グループは、グループ番号 111、222、および 333 から構成されます。
2. ピックアップ グループ 222 には、アソシエーション グループ 333 が含まれます。
3. 電話機 C の DN は、ピックアップ グループ 111 内の 1000 に指定されます。
4. 電話機 E の DN は、ピックアップ グループ 222 内の 2000 に指定されます。

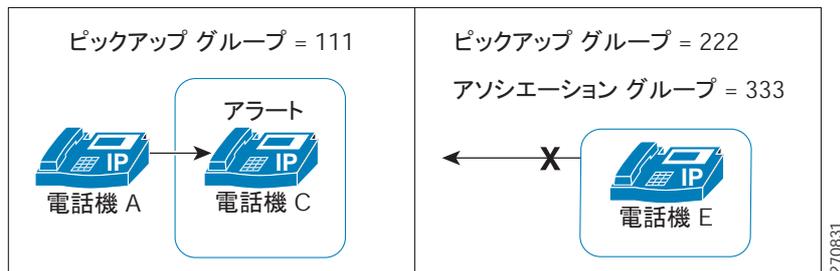
図 5-3 拒否が発生するダイレクト コール ピックアップの設定 1



5. ユーザ A が電話機 C にコールを発信し、電話機 C で呼び出し音が鳴り始めます。
6. ユーザ E が [G ピック] ソフトキーを押し、電話機 C の DN、つまり 1000 を入力します。
7. 電話機 E に対して試みられたダイレクト コール ピックアップは、電話機 E のピックアップ グループ (222) のアソシエーション リストにグループ 111 が含まれていないため、拒否されます。

図 5-4 は、ダイレクト コール ピックアップが失敗した後の電話機 A と電話機 E の接続状態を示しています。

図 5-4 拒否されたダイレクト コール ピックアップ、例 1



**ダイレクト コール ピックアップ制御メカニズム：拒否の例 2**

このシナリオは、ダイレクト コール ピックアップの試行が拒否される場合の制御メカニズムを示しています。図 5-5 に示すとおり、次のように設定されます。

1. 作成される 3 つのピックアップ グループは、グループ番号 111、222、および 333 から構成されます。
2. ピックアップ グループ 222 には、アソシエーション グループ 111 および 333 が含まれます。
3. 電話機 C の DN は、ピックアップ グループ 111 の PT\_C/1000 に指定されます。PT\_C は電話機 C のパーティションを示しています。
4. 電話機 E の DN は、ピックアップ グループ 222 の PT\_E/2000 に指定されます。PT\_E は電話機 E のパーティションを示し、電話機 E のコーリング サーチ スペース (CSS) は PT\_E に指定されます。

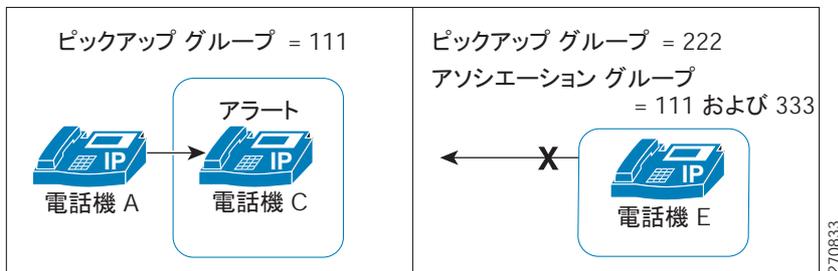
**図 5-5 拒否が発生するダイレクト コール ピックアップの設定 2**



5. ユーザ A が電話機 C にコールを発信し、電話機 C で呼び出し音が鳴り始めます。
6. ユーザ E が [G ピック] ソフトキーを押し、電話機 C の DN、つまり 1000 を入力します。
7. 電話機 E に対して試みられたダイレクト コール ピックアップは、電話機 E の CSS に電話機 C のパーティションが含まれていないため拒否されます。

図 5-6 は、ダイレクト コール ピックアップが失敗した後の電話機 A と電話機 E の接続状態を示しています。

**図 5-6 拒否されたダイレクト コール ピックアップ、例 2**

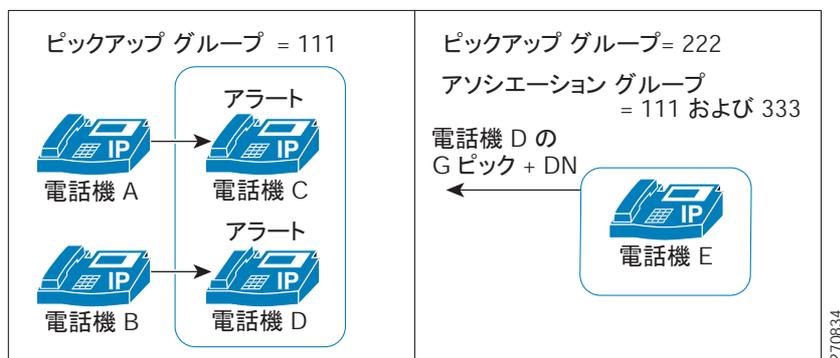


### ダイレクトコールピックアップ制御メカニズム：複数のコール

このシナリオは、複数のコールがピックアップ可能な場合のダイレクトコールピックアップを示しています。図 5-7 に示すとおり、次のように設定されます。

1. 作成される 3 つのピックアップグループは、グループ番号 111、222、および 333 から構成されます。
2. ピックアップグループ 222 には、アソシエーショングループ 111 および 333 が含まれます。
3. 電話機 C の DN は 1000、電話機 D の DN は 3000 に指定され、どちらの電話機もピックアップグループ 111 に属しています。
4. 電話機 E の DN は、ピックアップグループ 222 内の 2000 に指定されます。

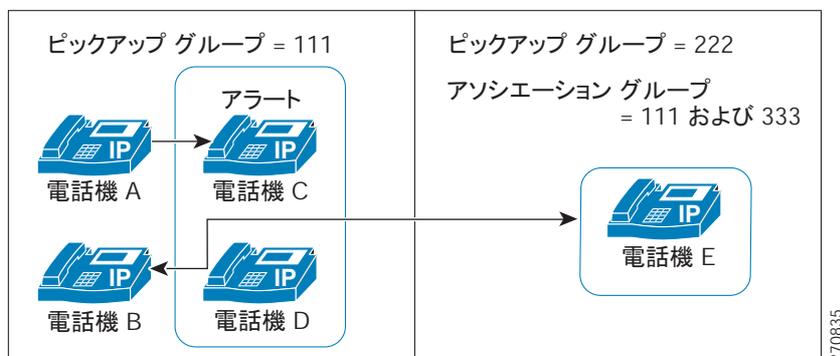
図 5-7 複数のコールがある場合のダイレクトコールピックアップの設定



5. ユーザ A がユーザ C にコールを発信し、ユーザ B が電話機 D にコールを発信します。電話機 C と電話機 D の呼び出し音が鳴り始めます。
6. ユーザ E が [G ピック] ソフトキーを押し、電話機 C の DN、つまり 3000 を入力します。
7. 電話機 B と電話機 E が接続され、電話機 D の呼び出し音が停止します。

図 5-8 は、ダイレクトコールピックアップが完了した後の電話機 B と電話機 E の接続状態を示しています。

図 5-8 複数のコールがあるダイレクトコールピックアップの完了



## BLF コールピックアップ

Cisco Unified IP Phone のビジー ランプ フィールド (BLF; Busy Lamp Field) ボタンを DN に関連付けることができます。この操作により、Cisco Unified Communications Manager は、コールが DN からのピックアップの待機中である場合に、そのことを電話機のユーザに通知できます。DN は BLF DN を表しており、BLF DN へのコールを受ける電話機が BLF コールピックアップの開始側となります。

次の規則が、BLF DN および BLF コールピックアップ開始側に適用されます。

- BLF コールピックアップ開始側は、次に使用可能な回線または指定された回線として選択されます。指定された回線を使用するには、BLF SD ボタンを押す前に回線がオフフックになっている必要があります。
- BLF コールピックアップの開始側がハント リスト メンバへの着信コールを受けることができるように、ハント リスト メンバ DN を BLF DN として設定できます。ハント リスト メンバへの着信コールは、ハント リスト から発信されたコールの場合もあれば、ダイレクト コールの場合もあります。どちらの場合も、動作は、コールピックアップのハント リスト メンバ DN、BLF DN、およびハントパイロット番号がどのように設定されているかによって異なります。
- サービスパラメータ `Auto Call Pickup Enabled` が [False] に設定されているときにコールピックアップを実行する場合、電話機がオフフックになっている必要があります。または、ユーザが [応答] キーを押してコールを受ける必要があります。

電話機の BLF SD ボタンは、次のいずれかの状態になります。

- アイドル：BLF DN にコールが存在していないことを示します。
- 話中：BLF DN に 1 つ以上のアクティブ コールが存在するが、アラートは発生していないことを示します。
- アラート：点滅している場合は、BLF DN に 1 つ以上の着信コールがあることを示します。



(注) オプションで、ビジュアルアラートに加え警告音を設定することができます。

BLF DN への着信コールに対する対応は、次のとおりです。

1. BLF DN への着信コールがあることを示すため、BLF コールピックアップの開始側電話機で BLF SD ボタンが点滅します。
2. 自動コールピックアップが設定されている場合、ユーザはコールピックアップの開始側電話機で BLF SD ボタンを押すと、着信コールを受けることができます。自動コールピックアップが設定されていない場合は、電話機がオフフックになっている必要があります。または、ユーザが [応答] キーを押してコールを受ける必要があります。

## BLF コールピックアップの例

このシナリオは、BLF コールピックアップを示しています。次の構成要素が設定されます。

- グループ 111 は、BLF DN (電話機 B)、外部電話機 (電話機 A)、および他の電話機を含むコールピックアップグループを表しています。
- グループ 222 は、グループ 111 に関連付けられたコールピックアップグループを表しています。グループ 222 には電話機 C が含まれます。
- 電話機 A は、外部電話機を表しています。
- 電話機 B は、グループ 111 内の BLF DN 電話機を表しています。
- 電話機 C は、BLF SD ボタンが電話機 B の BLF DN を監視するように設定されており、コールピックアップが有効な、グループ 222 内のユーザ電話機を表しています。これが、BLF コールピックアップの開始側電話機となります。

電話機 A からのコールが電話機 B に着信すると、電話機 C の BLF SD ボタンが点灯します。電話機 C のユーザがボタンを押し、電話機 A の発信者に接続します。

ハントリストパイロット番号がグループ 111 の一部として設定されている場合、電話機 A からハントグループへコールが発信されると、電話機 C の BLF SD ボタンが点灯します。電話機 C のユーザは、ボタンを押すと、電話機 A の発信者に接続できます。

### 追加情報

P.5-34 の「関連項目」を参照してください。

## 自動コールピックアップ

Auto Call Pickup Enabled サービスパラメータを有効にすると、コールピックアップ、グループピックアップ、他グループピックアップ、ダイレクトコールピックアップ、および BLF コールピックアップを自動化できます。

このパラメータが有効になっている場合、ユーザが電話機の該当するソフトキーを押すと、Cisco Unified Communications Manager は、ユーザが所属するピックアップグループ、別のピックアップグループ、またはユーザが所属するグループに関連付けられたピックアップグループ内の着信コールにユーザを自動的に接続します。このアクションに必要なキーストロークは 1 回のみです。

自動コールピックアップは、ユーザを本人が所属するグループの着信コールに接続します。ユーザが電話機の [ピック] ソフトキーを押すと、Cisco Unified Communications Manager はグループ内の着信コールを特定し、コール接続を行います。自動化が有効でない場合、ユーザはコール接続の際に [ピック] ソフトキーと [応答] ソフトキーを押す必要があります。

自動グループコールピックアップは、ユーザを別のピックアップグループの着信コールに接続します。ユーザは電話機の [G ピック] ソフトキーを押し、別のピックアップグループのグループ番号をダイヤルします。ピックアップグループ番号を受信すると、Cisco Unified Communications Manager はコール接続を行います。自動グループコールピックアップが有効でない場合、ユーザは [G ピック] ソフトキーを押して別のピックアップグループのグループ番号にダイヤルし、コールに応答して接続を確立する必要があります。

自動他グループコールピックアップでは、ユーザを本人が所属するグループに関連付けられたグループの着信コールに接続します。ユーザは電話機の [他 Grp] ソフトキーを押します。Cisco Unified Communications Manager は、[コールピックアップグループの設定 (Call Pickup Group Configuration)] ウィンドウに管理者が入力した順序で、関連付けられたグループ内の着信コールを自動的に検索し、コールが見つかったらコール接続を行います。自動化が有効でない場合、ユーザはコール接続の際に [他 Grp] ソフトキーと [応答] ソフトキーを押す必要があります。

自動ダイレクトコールピックアップでは、ユーザを本人が所属するグループに関連付けられたグループの着信コールに接続します。ユーザは電話機の [G ピック] ソフトキーを押し、呼び出し中の電話機の DN をダイヤルします。DN を受信すると、Cisco Unified Communications Manager はコール接続を行います。自動ダイレクトコールピックアップが有効でない場合、ユーザは [G ピック] ソフトキーを押して、呼び出し中の電話機の DN にダイヤルし、この時点で自分の電話機を呼び出しているコールに応答して接続を確立します。



(注)

CTI アプリケーションでは、コールに応答している通話者を監視できます。しかし、ピックアップの要求者または応答されたコールの着信先を監視することはできません。したがって、Cisco Unified Communications Manager Assistant では自動コールピックアップ (ワンタッチコールピックアップ) は使用できません。



(注) 自動コールピックアップは、限定された範囲で Cisco Unified Mobility 機能と通信します。詳細については、「[自動コールピックアップ](#)」を参照してください。

### 応答なし時のコールピックアップ

サービスパラメータ Auto Call Pickup Enabled が [False] に設定されているときにコールピックアップが発生した場合、その電話機で設定されたコール転送は、いずれかのピックアップソフトキーが押されると無視されます。コールピックアップの要求者がコールに回答しない場合、ピックアップ応答なしタイマーが時間切れになった後に元のコールが復元されます。

### ビジー時のコールピックアップ

サービスパラメータ Auto Call Pickup Enabled が [False] に設定されているときにコールピックアップが発生した場合、コールピックアップの要求者の電話機がビジーのときに、元のコールが復元されます。

### 帯域幅不足時のコールピックアップ

サービスパラメータ Auto Call Pickup Enabled が [False] に設定されているときにコールピックアップが発生した場合、コール発信者と要求者の電話機間の帯域幅が不足していると、元のコールが復元されます。

#### 追加情報

P.5-34 の「[関連項目](#)」を参照してください。

### パーティションによりアクセスを制限するコールピックアップ機能の使用

コールピックアップグループ番号にパーティションを割り当てると、コールピックアップグループへのアクセスを制限できます。この設定を使用すると、コールピックアップグループ番号のあるパーティションをコーリング検索スペースに含んでいる電話機だけが、そのコールピックアップグループに加入できます。パーティションとグループ番号の組み合わせは、システム全体で一意になるようにしてください。

- コールピックアップグループ番号がパーティションに割り当てられていると、そのパーティション内の番号をダイヤルできる電話機だけが、そのコールピックアップグループを使用できる。
- パーティションがマルチテナント構成のテナントに相当する場合は、各テナントに該当するパーティションに対してピックアップグループを割り当てる必要がある。

マルチテナント構成は、コールピックアップグループでパーティションを使用する例になります。ピックアップグループをテナントごとに適切なパーティションに割り当てると、グループ番号が他のテナントに表示されなくなります。

ダイレクトコールピックアップ機能では、ダイレクトコールピックアップ機能を要求するユーザのコーリング検索スペースにコールのピックアップ元となる DN のパーティションが含まれている必要があります。

#### 追加情報

P.5-34 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## コールピックアップ通知

コールピックアップ通知機能は、ピックアップグループの他のメンバがコールを受信したときに、Cisco Unified IP Phone にオーディオまたはビジュアル、あるいはその両方の通知を提供します。コールピックアップ通知は、システム、コールピックアップグループ、およびDN/電話機という3つの設定タイプの設定ウィンドウで設定します。

- [サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)]: [サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウでは、電話機がアイドル状態またはビジー状態になった場合に聞こえるオーディオ通知（ビープ音または呼び出し音）のタイプを設定します。この設定は、システムのデフォルトになります。
- [コールピックアップグループの設定 (Call Pickup Group Configuration)]: Cisco Unified Communications Manager の管理ページの [コールピックアップグループの設定 (Call Pickup Group Configuration)] ウィンドウでは、各コールピックアップグループの通知タイプを設定します。通知のタイプの設定のほか、コールがそのグループに着信してからオーディオアラートおよびビジュアルアラートを送信するまでの遅延時間を秒単位で設定できます。この設定により、そのピックアップグループにオーディオアラートおよびビジュアルアラート、またはそのいずれかが送信される前に、元の着信側がコールに応答することができます。P.5-28 の「[コールピックアップグループの設定項目](#)」を参照してください。
  - 通知のタイプをオーディオまたはビジュアル、あるいはその両方に設定するには、[コールピックアップグループの設定 (Call Pickup Group Configuration)] ウィンドウの [コールピックアップグループの通知設定 (Call Pickup Group Notification Settings)] の設定項目を使用します。通知は、デバイスのプライマリ回線だけに送信されます。
  - [コールピックアップグループの設定 (Call Pickup Group Configuration)] ウィンドウでビジュアル通知を設定するには、[コールピックアップグループ通知のコール情報表示 (Call Information Display For Call Pickup Group Notification)] セクションの設定項目を使用します。この設定により、管理者は、通知メッセージに発信側および着信側、またはいずれかの詳細情報を加えることができます。発信側 / 着信側の名前が設定されている場合には、それらの名前が表示されます。設定されていない場合は、番号が表示されます。ビジュアル通知は、電話機のステータス行のメッセージを構成します。
- [電話番号の設定 (Directory Number Configuration)]: このウィンドウは、各電話機のオーディオアラート設定項目を設定するためのフィールドを提供します。コールピックアップグループオーディオアラートの設定を使用して、電話機のオーディオアラートのタイプを設定します。この設定により、ユーザは電話機がアイドル状態になったとき、またはアクティブなコールを受けているときに提供されるオーディオアラートのタイプを設定できます。『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「[電話番号の設定値](#)」を参照してください。

コールピックアップ通知は、ピックアップグループのメンバが着信コールを受信したときにだけ、ピックアップグループの他のメンバに送信される点に注意してください。

### 追加情報

P.5-34 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## コールピックアップのシステム要件

コールピックアップが動作するには、次のソフトウェアコンポーネントが必要です。

- Cisco Unified Communications Manager

SCCP および SIP を実行する次の電話機は、Standard User と Standard Feature のソフトキーテンプレートの Pick Up (PickUp) ソフトキーと Group Pick Up (GPickUp) ソフトキーで、コールピックアップをサポートしています。

- Cisco Unified IP Phone (7941、7961、7970、7971)

SCCP および SIP を実行する次の電話機は、Standard User と Standard Feature のソフトキー テンプレートの Pick Up (PickUp) ソフトキーと Group Pick Up (GPickUp) ソフトキーで、コールピックアップをサポートしています。

- Cisco Unified IP Phone (7905、7912、7920、7931、7940、7960)



(注)

管理者は、ソフトキー テンプレートに Other Pickup (OPickUp) ソフトキーを追加する必要があります。プログラミング可能な回線キー機能を使用して、コールピックアップ、グループコールピックアップ、他グループピックアップ、およびダイレクトコールピックアップを電話ボタンテンプレートに設定できます (『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「プログラム可能な回線キー」を参照)。

### 追加情報

P.5-34 の「関連項目」を参照してください。

## インタラクションおよび制限事項

次の項では、コール ピックアップにおけるインタラクションおよび制限事項について説明します。

- [インタラクション \(P.5-14\)](#)
- [制限事項 \(P.5-15\)](#)

### 追加情報

[P.5-34](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

## インタラクション

次の各項では、コール ピックアップが Cisco Unified Communications Manager アプリケーションおよびコール処理と通信する方法について説明します。

- [ルート プラン レポート \(P.5-14\)](#)
- [コーリング サーチ スペースとパーティション \(P.5-14\)](#)
- [Time of Day \(P.5-14\)](#)
- [コール アカウンティング \(P.5-15\)](#)
- [依存関係レコード \(P.5-15\)](#)

## ルート プラン レポート

ルート プラン レポートには、Cisco Unified Communications Manager で設定されているパターンと DN が示されます。コール ピックアップ グループに DN を割り当てる前に、ルート プラン レポートを使用して、パターンと DN の重複を検索します。『*Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド*』の「[ルート プラン レポート](#)」の章を参照してください。

## コーリング サーチ スペースとパーティション

デバイスのコーリング サーチ スペースに基づいてユーザによるコール ピックアップへのアクセスを制限するには、コール ピックアップ グループ番号をパーティションに割り当てます。『*Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド*』の「[コーリング サーチ スペースの設定](#)」および「[パーティションの設定](#)」を参照してください。

## Time of Day

ユーザは、本人が所属するグループに関連付けられたグループのコールに応答するには、関連付けられたグループのメンバに関するコーリング サーチ スペース、パーティション、および Time of Day (TOD) パラメータを設定することにより、本人が所属するグループと同じ時間帯にアクティブになってコールを受け入れることができます。TOD は、タイム スタンプをコーリング サーチ スペースとパーティションに関連付けます。

たとえば、ABC というパーティションが午前 9 時～午後 5 時までアクティブになっているとします。コーリング サーチ スペース cssABC は、パーティション ABC を含んでいます。pickABC というピックアップ グループには、電話機 1 と電話機 2 が含まれています。電話機 1 と電話機 2 は、同じコーリング サーチ スペース cssABC に存在します。電話機 1 の呼び出し音が午後 5 時 30 分に鳴り、電話機 2 がコールへの応答を試行する場合、午後 5 時以降はパーティションがアクティブになっていないため、この試行は失敗します。電話機 1 の呼び出し音が午前 9 時 30 分に鳴ると、電話機 2 はそのコールに応答できます。

## コール アカウンティング

コールピックアップ機能は、コール アカウンティングと通信します。

- 自動コールピックアップによってコールピックアップが発生すると、システムは2つの Call Detail Record (CDR; 呼詳細レコード) を生成します。一方の CDR はクリアされた元のコールに適用され、もう一方の CDR は接続された要求コールに適用されます。
- 自動でないコールピックアップによってコールピックアップが発生すると、システムは1つの呼詳細レコードを生成し、接続された要求コールにそれが適用されます。
- CDR 検索では、指定された特定の期間およびその他の検索条件に一致する CDR がすべて返されます。特定の CDR に関連付けられたコールのタイプがわかるよう、検索結果のコールタイプフィールドには、コールがピックアップコールかどうかが表示されます。

## 依存関係レコード

特定のコールピックアップ番号が割り当てられているデバイスを検索する必要がある場合は、Cisco Unified Communications Manager の管理ページの [コールピックアップグループの設定 (Call Pickup Group Configuration)] ウィンドウにある [依存関係レコード (Dependency Records)] リンクをクリックします。[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウには、そのコールピックアップ番号を使用しているデバイスに関する情報が表示されます。

ピックアップグループが他のピックアップグループに関連付けられている場合、そのピックアップグループの依存関係レコードには、関連付け情報が表示されます。たとえば、ピックアップグループ A がピックアップグループ B およびピックアップグループ C に関連付けられている場合、ピックアップグループ A の依存関係レコードには、ピックアップグループ B およびピックアップグループ C に対するピックアップグループ A の関連付けに関する情報が表示されます。

デバイスに関する詳細な情報を調べるには、デバイスをクリックします。[依存関係レコード詳細 (Dependency Records Detail)] ウィンドウが表示されます。依存関係レコードがシステムで使用できない場合は、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。

依存関係レコードの詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「依存関係レコードへのアクセス」を参照してください。

### 追加情報

P.5-34 の「関連項目」を参照してください。

## 制限事項

コールピックアップグループには、次の制限事項があります。

- ある特定の電話機に割り当て済みの異なる回線を異なるコールピックアップグループに割り当てることは可能ですが、ユーザの混乱を招く原因になるため、この設定はお勧めしません。
- 回線または DN に割り当てられているコールピックアップグループ番号を削除することはできません。コールピックアップグループ番号を使用している回線を調べるには、依存関係レコードを使用します。コールピックアップグループ番号を削除するには、各回線または各 DN に新しいコールピックアップグループ番号を割り当て直す必要があります。
- コールピックアップグループ番号を更新すると、そのコールピックアップグループに割り当てられているすべての電話番号が Cisco Unified Communications Manager により自動的に更新されます。

- Cisco Unified Communications Manager Attendant Console は、コール ピックアップ機能に対応していません。Attendant Console ユーザー インターフェイスでは、JTAPI と CTI の制限により、コール ピックアップ グループに属する電話機から発信されるコールまたはその電話機に着信するコールを正しく処理できません。
- コール ピックアップ通知、オーディオアラート、およびビジュアルアラートは、SIP を実行する Cisco Unified IP Phone 7911、7941、7961、7970、および 7971 をサポートしています。
- SIP を実行する Cisco Unified IP Phone 7905、7912、7940、および 7960 では、コール ピックアップ通知、オーディオアラート、およびビジュアルアラートはサポートされません。
- コール ピックアップ通知、オーディオアラート、およびビジュアルアラートがサポートしているのは、ライセンスが発行されているサードパーティの SIP を実行する電話機だけです。
- ユーザは、ダイレクト コール ピックアップ機能を使用して、回線グループに属する DN へのコールを受けることはできません。
- デバイスがハント リストに所属し、ハント パイロット番号へ発信されたコールによって、そのデバイスの呼び出し音が鳴っている場合、ユーザはダイレクト コール ピックアップ機能を使用してこのようなコールを受けることはできません。

### 追加情報

P.5-34 の「関連項目」を参照してください。

## コール ピックアップのインストールとアクティブ化

システム機能のコール ピックアップは、Cisco Unified Communications Manager ソフトウェアに標準で備わっています。この機能は、特にインストールする必要はありません。

### 追加情報

P.5-34 の「関連項目」を参照してください。

## コール ピックアップ機能の設定

この項の内容は次のとおりです。

- コール ピックアップおよびグループ コール ピックアップの設定チェックリスト (P.5-17)
- 他グループ コール ピックアップの設定チェックリスト (P.5-19)
- ダイレクト コール ピックアップの設定チェックリスト (P.5-21)
- BLF コール ピックアップの設定チェックリスト (P.5-23)
- コール ピックアップのサービス パラメータの設定 (P.5-25)

### 追加情報

P.5-34 の「関連項目」を参照してください。

## コール ピックアップおよびグループ コール ピックアップの設定チェックリスト

表 5-1 に、コール ピックアップ機能を設定する際のチェックリストを示します。

表 5-1 コール ピックアップおよびグループ コール ピックアップの設定チェックリスト

設定手順	関連手順と関連項目
<b>ステップ 1</b> コール ピックアップ グループでパーティションを使用する場合は、パーティションを設定します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「パーティションの設定」  パーティションによりアクセスを制限するコール ピックアップ機能の使用 (P.5-11)
<b>ステップ 2</b> コール ピックアップ グループを設定します。名前と番号は一意にしてください。	コール ピックアップ グループの設定 (P.5-27)
<b>ステップ 3</b> ステップ 2 で作成したコール ピックアップ グループを、コール ピックアップを有効にする電話機に関連付けられた電話番号に割り当てます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• コール ピックアップ機能を使用するには、コール ピックアップ グループに割り当てられた電話番号のみを使用する必要があります。</li> <li>• コール ピックアップ番号でパーティションを使用する場合は、コール ピックアップ グループに割り当てられた電話番号が、適切なパーティションを含むコーリング サーチ スペースを持つようにしてください。</li> </ul>	電話番号へのコール ピックアップ グループの割り当て (P.5-32)

## ■ コールピックアップ機能の設定

表 5-1 コールピックアップおよびグループコールピックアップの設定チェックリスト (続き)

設定手順	関連手順と関連項目
<b>ステップ 4</b> 通知をオーディオまたはビジュアル、あるいはその両方に設定します (オプション)。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Call Pickup Group Audio Alert Setting サービスパラメータを設定します。</li> <li>• [コールピックアップグループの設定 (Call Pickup Group Configuration)] ウィンドウで通知タイプ (オーディオ、ビジュアル、両方) を設定します。</li> <li>• [コールピックアップグループの設定 (Call Pickup Group Configuration)] ウィンドウで通知タイマーを設定します。</li> <li>• [電話番号の設定 (Directory Number Configuration)] ウィンドウで各電話機のオーディオアラート設定項目を設定します。</li> </ul>	<a href="#">コールピックアップ通知 (P.5-12)</a> <a href="#">コールピックアップグループの設定項目 (P.5-28)</a> 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「電話番号の設定値」
<b>ステップ 5</b> 必要に応じて、電話ボタンテンプレートにコールピックアップボタンまたはグループコールピックアップボタンを追加します。  この操作が必要になるのは、Cisco IP Phone 12 SP、12 SP+、および 30 VIP だけです。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「電話ボタンテンプレートの設定」
<b>ステップ 6</b> Pick Up (PickUp) ソフトキーと Group Pick Up (GPickUp) ソフトキーを使用する電話機に、Standard User または Standard Feature ソフトキーテンプレートを割り当てます。   <b>(注)</b> コールを受ける電話機をユーザが所属するグループ内の電話機に限定するには、ソフトキーテンプレートの [Group Pick Up (GPickUp)] ソフトキーまたは [Other Pickup (oPickup)] ソフトキーを [ソフトキーテンプレートの設定 (Softkey Template Configuration)] ウィンドウの [選択されていないソフトキー (Unselected Softkeys)] ボックスに移動して無効にします。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「IP Phone へのソフトキーテンプレートの割り当て」
<b>ステップ 7</b> コールピックアップグループに対して自動コール応答が必要な場合は、Auto Call Pickup Enabled サービスパラメータの値に [True] を選択して有効にします。デフォルトは [False] です。	<a href="#">自動コールピックアップ (P.5-10)</a> 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「サービスパラメータの設定」
<b>ステップ 8</b> Auto Call Pickup Enabled サービスパラメータが [False] の場合は、Call Pickup No Answer Timer サービスパラメータの値を入力します。コールピックアップ、グループコールピックアップ、または他グループコールピックアップによってコールがピックアップされたが応答されなかった場合、このパラメータはコールの復元に要する時間を制御します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「サービスパラメータの設定」

表 5-1 コールピックアップおよびグループコールピックアップの設定チェックリスト (続き)

設定手順	関連手順と関連項目
<b>ステップ 9</b> Pickup Locating Timer サービスパラメータの値を入力します。このパラメータは、コールピックアップ、グループコールピックアップ、および他グループコールピックアップでのコール選択の時間を制御します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「サービスパラメータの設定」
<b>ステップ 10</b> コールピックアップ機能およびグループコールピックアップ機能、またはどちらか一方が使用可能であることをユーザに通知します。	ユーザが Cisco Unified IP Phone でコールピックアップ機能およびグループコールピックアップ機能にアクセスする方法については、電話機のマニュアルを参照してください。

## 追加情報

P.5-34 の「関連項目」を参照してください。

## 他グループコールピックアップの設定チェックリスト

表 5-2 に、他グループコールピックアップを設定する際のチェックリストを示します。

表 5-2 他グループコールピックアップの設定チェックリスト

設定手順	関連手順と関連項目
<b>ステップ 1</b> すべてのピックアップグループから選択可能な、関連付けられたグループのリストを設定します。リストには最大 10 のグループを含めることができます。	他グループコールピックアップのピックアップグループの定義 (P.5-32)
<b>ステップ 2</b> ユーザのグループに関連付けられたグループのメンバに関する Calling Search Space パラメータと TOD パラメータを設定します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「コーリングサーチスペースの設定」 『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「Time-of-Day ルーティング」 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「タイムスケジュールの設定」 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「時間帯の設定」
<b>ステップ 3</b> 他グループコールピックアップに対して自動コール応答が必要な場合は、Auto Call Pickup Enabled サービスパラメータの値に [True] を入力して有効にします。デフォルトは [False] です。	自動コールピックアップ (P.5-10) 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「サービスパラメータの設定」
<b>ステップ 4</b> Auto Call Pickup Enabled サービスパラメータが [False] の場合は、Call Pickup No Answer Timer サービスパラメータの値を入力します。コールが他グループコールピックアップによってピックアップされたが応答されなかった場合、このパラメータはコールの復元に要する時間を制御します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「サービスパラメータの設定」

表 5-2 他グループ コールピックアップの設定チェックリスト (続き)

設定手順		関連手順と関連項目
ステップ 5	<p>Pickup Locating Timer サービス パラメータの値を入力します。このパラメータは、コールピックアップ、グループコールピックアップ、および他グループコールピックアップでのコール選択の時間を制御します。</p>	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「サービスパラメータの設定」
ステップ 6	<p>電話機に Other Pickup (OPickUp) ソフトキーを設定するには、Standard User または Standard Feature ソフトキー テンプレートを変更して、その電話機に追加します。</p> <p>Other Pickup (OPickUp) ソフトキーを含めるには、次の手順でテンプレートを変更します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、[デバイス (Device)] &gt; [デバイスの設定 (Device Settings)] &gt; [ソフトキーテンプレート (Softkey Template)] を選択します。</li> <li>• 対象となるソフトキー テンプレートを選択します。</li> <li>• [ソフトキーレイアウトの設定 (Softkey Layout Configuration)] リンクを選択します。</li> <li>• オンフックまたはオフフックのコール状態を選択します。</li> <li>• [選択されていないソフトキー (Unselected Softkeys)] ボックスで [Other Pickup (OPickUp)] を選択します。右矢印をクリックし、[Other Pickup (OPickUp)] ソフトキーを [選択されたソフトキー (Selected Softkeys、位置順)] ボックスに移動します。</li> </ul> <p> (注) コールを受ける電話機をユーザが所属するグループ内の電話機に限定するには、ソフトキー テンプレートで [Other Pickup (OPickUp)] ソフトキーを無効にします。</p>	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「IP Phone へのソフトキー テンプレートの割り当て」
ステップ 7	他グループ コールピックアップ機能が使用可能であることをユーザに通知します。	ユーザが Cisco Unified IP Phone で他グループ コールピックアップ機能にアクセスする方法については、電話機のマニュアルを参照してください。

## 追加情報

P.5-34 の「関連項目」を参照してください。

## ダイレクトコールピックアップの設定チェックリスト

表 5-3 に、他グループコールピックアップを設定する際のチェックリストを示します。

表 5-3 ダイレクトコールピックアップの設定チェックリスト

設定手順	関連手順と関連項目
<b>ステップ 1</b> すべてのピックアップグループから選択可能な、関連付けられたグループのリストを設定します。リストには最大 10 のグループを含めることができます。	他グループコールピックアップのピックアップグループの定義 (P.5-32)
<b>ステップ 2</b> ユーザのグループに関連付けられたグループのメンバーに関する Calling Search Space パラメータと TOD パラメータを設定します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「コーリングサーチスペースの設定」  『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「Time-of-Day ルーティング」  『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「タイムスケジュールの設定」  『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「時間帯の設定」
<b>ステップ 3</b> ダイレクトコールピックアップに対して自動コール応答が必要な場合は、Auto Call Pickup Enabled サービスパラメータの値に [True] を入力して有効にします。デフォルトは [False] です。	自動コールピックアップ (P.5-10)  『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「サービスパラメータの設定」
<b>ステップ 4</b> Auto Call Pickup Enabled サービスパラメータが [False] の場合は、Call Pickup No Answer Timer サービスパラメータの値を入力します。コールがダイレクトコールピックアップによってピックアップされたが応答されなかった場合、このパラメータはコールの復元に要する時間を制御します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「サービスパラメータの設定」
<b>ステップ 5</b> Pickup Locating Timer サービスパラメータの値を入力します。このパラメータは、コールピックアップ、グループコールピックアップ、および他グループコールピックアップでのコール選択の時間を制御します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「サービスパラメータの設定」

表 5-3 ダイレクトコールピックアップの設定チェックリスト (続き)

設定手順	関連手順と関連項目
<p><b>ステップ 6</b> 電話機に Group Call Pickup (GPickUp) ソフトキーを設定するには、Standard User または Standard Feature ソフトキー テンプレートを変更して、その電話機に追加します。</p> <p>Group Call Pickup (GPickUp) ソフトキーを含めるには、次の手順でテンプレートを変更します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、[デバイス (Device)] &gt; [デバイスの設定 (Device Settings)] &gt; [ソフトキーテンプレート (Softkey Template)] を選択します。</li> <li>• 対象となるソフトキー テンプレートを選択します。</li> <li>• [ソフトキーレイアウトの設定 (Softkey Layout Configuration)] リンクを選択します。</li> <li>• オンフックまたはオフフックのコール状態を選択します。</li> <li>• [選択されていないソフトキー (Unselected Softkeys)] ボックスで [Group Call Pickup (GPickUp)] を選択します。右矢印をクリックし、[Group Call Pickup (GPickUp)] ソフトキーを [選択されたソフトキー (Selected Softkeys、位置順)] ボックスに移動します。</li> </ul> <p> (注) コールを受ける電話機をユーザが所属するグループ内の電話機に限定するには、ソフトキーテンプレートで [Group Call Pickup (GPickUp)] ソフトキーを無効にします。</p>	<p>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「IP Phone へのソフトキー テンプレートの割り当て」</p>
<p><b>ステップ 7</b> ダイレクトコールピックアップ機能が使用可能であることをユーザに通知します。</p>	<p>ユーザが Cisco Unified IP Phone でダイレクトコールピックアップ機能にアクセスする方法については、電話機のマニュアルを参照してください。</p>

### 追加情報

P.5-34 の「関連項目」を参照してください。

## BLF コールピックアップの設定チェックリスト

表 5-4 に、BLF コールピックアップを設定する際のチェックリストを示します。

表 5-4 BLF コールピックアップの設定チェックリスト

設定手順	関連手順と関連項目
<b>ステップ 1</b> BLF DN のコールピックアップグループを設定します。名前と番号は一意にしてください。	コールピックアップグループの設定 (P.5-27)
<b>ステップ 2</b> 別のコールピックアップグループを作成し、ステップ 1 で作成したコールピックアップグループに関連付けます。1つのコールピックアップグループを複数の BLF DN コールピックアップグループに関連付けることができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• コールピックアップグループに割り当てられた電話番号だけが、BLF コールピックアップ機能を使用できます。</li> <li>• コールピックアップ番号でパーティションを使用する場合は、コールピックアップグループに割り当てられた電話番号が、適切なパーティションを含むコーリングサーチスペースを持つようにしてください。</li> </ul>  <p>(注) 必ずしも別のコールピックアップグループを作成する必要があるわけではありません。ピックアップグループは、それ自身をアソシエーショングループとして保持できます。</p>	コールピックアップグループの設定 (P.5-27)
<b>ステップ 3</b> BLF DN からコールを受けるために使用する電話デバイスに BLF SD ボタンを追加します。これは、コールピックアップの開始側を示しています。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」
<b>ステップ 4</b> [ビジールンプフィールド短縮ダイヤルの設定 (BLF Speed dial Configuration)] ウィンドウで、BLF SD ボタンによって監視される BLF DN となる電話番号を選択します。[コールピックアップ (Call Pickup)] チェックボックスで、BLF SD ボタンに関連付けられたピックアップ機能を有効にします。  <p>(注) このチェックボックスをオンにすると、BLF コールピックアップと BLF 短縮ダイヤルに BLF SD ボタンを使用できます。このチェックボックスがオフになっている場合は、BLF 短縮ダイヤルにのみ BLF SD ボタンを使用できません。</p>	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」

表 5-4 BLF コールピックアップの設定チェックリスト (続き)

設定手順	関連手順と関連項目
<b>ステップ 5</b> [電話番号の設定 (Directory Number Configuration)] ウィンドウで、 <b>ステップ 2</b> で作成されたコールピックアップグループに対する BLF コールピックアップの開始側として使用される DN を追加します。   <b>(注)</b> BLF DN のピックアップグループは、開始側のアソシエーショングループに所属している必要があります。ステップ 2 で作成されたピックアップグループには、一連のアソシエーショングループ内で、ステップ 1 で作成されたピックアップグループが含まれている必要があります。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「電話番号の設定値」
<b>ステップ 6</b> [電話番号の設定 (Directory Number Configuration)] ウィンドウで、 <b>ステップ 1</b> で作成したコールピックアップグループに BLF DN を追加します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「電話番号の設定値」
<b>ステップ 7</b> (オプション) [サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウで、クラスタに関する BLF コールピックアップ オーディオアラートをアクティブにするため、次のフィールドを有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [BLF Pickup Audio Alert Setting of Idle Station]</li> <li>• [BLF Pickup Audio Alert Setting of Busy Station]</li> </ul>	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「サービスパラメータの設定」
<b>ステップ 8</b> (オプション) [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウで、BLF コールピックアップの開始側に関する BLF コールピックアップ オーディオアラートをアクティブにするため、次のフィールドを有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [BLF オーディオアラート設定 (電話がアイドルのとき) (BLF Audible Alert Setting (Phone Idle))]</li> <li>• [BLF オーディオアラート設定 (電話がビジーのとき) (BLF Audio Alert (Phone Busy))]</li> </ul>	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」
<b>ステップ 9</b> (オプション) [エンタープライズパラメータ設定 (Enterprise Parameters Configuration)] ウィンドウで、エンタープライズパラメータの Cisco Support Use 1 を使用して、ハントパイロット番号のコールピックアップグループへの追加を許可または禁止します。CSCsb42763 を使用すると、ハントパイロット番号のコールピックアップグループへの追加が許可されます。これを使用しない場合は、ハントパイロット番号をコールピックアップグループに追加できません。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「エンタープライズパラメータの設定」
<b>ステップ 10</b> コールピックアップ機能が使用可能であることをユーザに通知します。	ユーザが Cisco Unified IP Phone でコールピックアップ機能にアクセスする方法については、電話機のマニュアルを参照してください。

## 追加情報

P.5-34 の「関連項目」を参照してください。

## コールピックアップのサービスパラメータの設定

Cisco Unified Communications Manager には、コールピックアップ機能用に、Auto Call Pickup Enabled、Call Pickup Locating Timer、および Call Pickup No Answer Timer という3つのクラスタ全体のサービスパラメータがあります。各サービスパラメータではデフォルトが設定されているので、特別な設定は必要ありません。

- **Auto Call Pickup Enabled** : デフォルトは [False] です。このパラメータは、自動コールピックアップ機能が有効かどうかを決定します。有効にするには、このフィールドを [True] に設定します。
- **Call Pickup Locating Timer** : デフォルトは1秒です。このサービスパラメータは、クラスタ内のすべてのノードからピックアップグループのすべてのアラートコールを取得するために、ピックアップが待機する最大時間を秒単位で指定します。
- **Call Pickup No Answer Timer** : デフォルトは12秒です。この必須パラメータは、ピックアップ要求を開始したユーザがコールを受けないことにした場合に、元のコールを復元するまでに待機する最大時間を秒単位で指定します。



(注)

タイマーを設定するには、[システム (System)] > [サービスパラメータ (Service Parameters)] を選択し、[詳細設定 (Advanced)] アイコンを選択するか、[詳細設定 (Advanced)] ボタンをクリックして、[Clusterwide Parameters (Feature - Call Pickup)] ペインのフィールドを更新します。

### 追加情報

P.5-34 の「関連項目」を参照してください。

## コールピックアップグループの設定

この項の内容は次のとおりです。

- [コールピックアップグループの設定 \(P.5-26\)](#)
- [コールピックアップグループの設定 \(P.5-27\)](#)
- [コールピックアップグループの設定項目 \(P.5-28\)](#)
- [コールピックアップグループの削除 \(P.5-31\)](#)
- [他グループコールピックアップのピックアップグループの定義 \(P.5-32\)](#)
- [電話番号へのコールピックアップグループの割り当て \(P.5-32\)](#)

### 追加情報

[P.5-34](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

## コールピックアップグループの検索

ネットワーク上には複数のピックアップグループが存在する可能性があるため、Cisco Unified Communications Manager では、特定の条件に基づいて、コールピックアップグループを検索できます。コールピックアップグループを検索するには、次の手順を実行します。



(注)

ブラウザセッションでの作業中は、Cisco Unified Communications Manager の管理ページでコールピックアップグループの検索プリファレンスが保持されます。他のメニュー項目に移動してこのメニュー項目に戻った場合でも、検索を変更するかブラウザを閉じない限り、コールピックアップグループの検索プリファレンスは Cisco Unified Communications Manager の管理ページで保持されています。

### 手順

**ステップ 1** [コールルーティング (Call Routing)] > [コールピックアップグループ (Call Pickup Group)] を選択します。

[コールピックアップグループの検索と一覧表示 (Find and List Call Pickup Groups)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** データベース内のすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空になっていることを確認し、[ステップ 3](#) に進みます。

特定のレコードをフィルタリングまたは検索するには、次の操作を実行します。

- 最初のドロップダウンリストボックスで、検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウンリストボックスで、検索パターンを選択します。
- 必要に応じて、適切な検索文字を入力します。



(注) 別の検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。条件を追加した場合は、指定したすべての条件に一致するレコードが検索されます。条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして、最後に追加された条件を削除するか、または [フィルタのクリア (Clear Filter)] ボタンをクリックして、追加されたすべての検索条件を削除します。

**ステップ3** [検索 (Find)] をクリックします。

すべてのレコードまたは条件に一致するレコードが表示されます。[ページあたりの行数 (Rows per Page)] ドロップダウン リスト ボックスで別の値を選択すると、各ページに表示される項目数を変更できます。



**(注)** 適切なレコードの横にあるチェックボックスをオンにして、[選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックすると、データベースから複数のレコードを削除できます。[すべてを選択 (Select All)] をクリックして [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックすると、この選択対象として設定可能なすべてのレコードを削除できます。

**ステップ4** 表示されたレコードリストから、目的のレコードのリンクをクリックします。



**(注)** ソート順を逆にするには、リストのヘッダーにある上矢印または下矢印をクリックします (使用可能な場合)。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

#### 追加情報

P.5-34 の「関連項目」を参照してください。

## コールピックアップグループの設定

ここでは、1つのコールピックアップグループを追加、コピー、および更新する方法について説明します。

#### 手順

**ステップ1** [コールルーティング (Call Routing)] > [コールピックアップグループ (Call Pickup Group)] を選択します。

**ステップ2** 次のいずれかの手順を実行します。

- 新しいコールピックアップグループを追加するには、[新規追加 (Add New)] をクリックします。
- コールピックアップグループをコピーするには、P.5-26 の「コールピックアップグループの設定」の手順を使用して、コールピックアップグループを検索します。[コピー (Copy)] アイコンをクリックします。
- コールピックアップグループを更新するには、P.5-26 の「コールピックアップグループの設定」の手順を使用して、コールピックアップグループを検索します。

[コールピックアップグループの設定 (Call Pickup Group Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ3** 適切な設定値を入力するか更新します (表 5-5 を参照)。

**ステップ 4** 新規コールピックアップグループまたは変更されたコールピックアップグループをデータベースに保存するには、**[保存 (Save)]** をクリックします。

### 追加情報

P.5-34 の「関連項目」を参照してください。

## コールピックアップグループの設定項目

表 5-5 に、コールピックアップグループの設定項目を示します。関連する手順については、P.5-34 の「関連項目」を参照してください。

表 5-5 コールピックアップグループの設定項目

フィールド	説明
<b>[コールピックアップグループ情報 (Call Pickup Group Information)]</b>	
[コールピックアップグループ名 (Call Pickup Group Name)]	最大で 100 文字の英数字を入力できます。たとえば、「Operations」のように指定します。ピックアップグループ名は、ピックアップグループ番号と関連付けられます。ピックアップグループはピックアップグループ名で選択できます。
[コールピックアップグループ番号 (Call Pickup Group Number)]	追加するコールピックアップグループ用の一意の電話番号 (整数) を入力します。
[説明 (Description)]	コールピックアップグループの説明を入力します (たとえば、Operations Department Group Pickup)。
[パーティション (Partition)]	<p>パーティションを使用してコールピックアップグループへのアクセスを制限する場合は、ドロップダウンリストボックスから希望のパーティションを選択します。コールピックアップグループへのアクセスを制限しない場合は、パーティションに [<b>&lt;なし&gt;</b> (&lt;None&gt;)] を選択します。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズパラメータを使用すると、このドロップダウンリストボックスに表示されるパーティションの数を設定できます。Max List Box Items エンタープライズパラメータの指定よりも多くのパーティションが存在する場合は、このドロップダウンリストボックスの横に<b>[検索 (Find)]</b> ボタンが表示されます。<b>[検索 (Find)]</b> ボタンをクリックすると、[パーティションの検索と一覧表示 (Find and List Partitions)] ウィンドウが表示されます。『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「パーティションの検索」の手順に従って、パーティション名を検索および選択します。</p> <p> <b>(注)</b> リストボックス項目の最大数を設定するには、<b>[システム (System)]</b> &gt; <b>[エンタープライズパラメータ (Enterprise Parameters)]</b> を選択し、<b>[CCMAdmin Parameters]</b> を選択します。</p> <p> <b>(注)</b> コールピックアップグループ番号とパーティションの組み合わせが、Cisco Unified Communications Manager クラスタ内で固有であることを確認してください。</p>

表 5-5 コールピックアップグループの設定項目 (続き)

フィールド	説明
<b>[コールピックアップグループの通知設定 (Call Pickup Group Notification Settings)]</b>	
[コールピックアップグループ通知ポリシー (Call Pickup Group Notification Policy)]	ドロップダウン リスト ボックスから、次のいずれかの通知タイプを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [アラートなし (No Alert)]</li> <li>• [オーディオアラート (Audio Alert)]</li> <li>• [ビジュアルアラート (Visual Alert)]</li> <li>• [オーディオおよびビジュアルアラート (Audio and Visual Alert)]</li> </ul>
[コールピックアップグループ通知タイマー (Call Pickup Group Notification Timer, 秒)]	元の着信側にコールが最初に着信してから、それ以外のコールピックアップグループに通知を送信するまでの遅延時間を秒単位 (1 ~ 300 の範囲の整数) で入力します。
<b>[コールピックアップグループ通知のコール情報表示 (Call Information Display For Call Pickup Group Notification)]</b>	
[発呼側情報 (Calling Party Information)]	<p>コールピックアップグループへのビジュアル通知メッセージに発信側の ID を加えるには、このチェックボックスをオンにします。[コールピックアップグループ通知ポリシー (Call Pickup Group Notification Policy)] が [ビジュアルアラート (Visual Alert)] または [オーディオおよびビジュアルアラート (Audio and Visual Alert)] に設定されている場合にだけ、この設定を使用できます。</p> <p>[発呼側情報 (Calling Party Information)] と [着信側情報 (Called Party Information)] の両方を表示する場合、最初の 11 文字だけが各ディスプレイに表示されます。どちらか一方だけを表示する場合は、最初の 23 文字が表示されます。ただし、表示名に関連番号がない機能タグ ([Conference] -&gt; [Alice] など) が含まれる場合は、このような文字数の制限はありません。</p> <p> <b>(注)</b> アクティブな通知アラートが複数ある場合、最新のビジュアルアラートによってその前のアラートが無効になります。ユーザがコールピックアップをアクティブにすると、電話機に現在ビジュアルアラートが表示されている場合でも、ピックアップ可能な最も古いコールにユーザが接続されます。発信側または着信側の情報を表示しないビジュアル通知を使用することで、この矛盾を回避することができます。この設定を使用する場合、「コールがピックアップ可能」という汎用メッセージが表示されます。自動コールピックアップ (AutoCallPickupEnabled サービスパラメータ) が無効の場合は発信者の ID を取得できます。<a href="#">P.5-10 の「自動コールピックアップ」</a>を参照してください。</p>

## ■ コールピックアップグループの設定

表 5-5 コールピックアップグループの設定項目 (続き)

フィールド	説明
[着信側情報 (Called Party Information)]	<p>コールピックアップグループへのビジュアル通知メッセージに元の着信側の ID を加えるには、このチェックボックスをオンにします。[コールピックアップグループ通知ポリシー (Call Pickup Group Notification Policy)] が [ビジュアルアラート (Visual Alert)] または [オーディオおよびビジュアルアラート (Audio and Visual Alert)] に設定されている場合に、この設定を使用できます。</p> <p>[発呼側情報 (Calling Party Information)] と [着信側情報 (Called Party Information)] の両方を表示する場合、最初の 11 文字だけが各ディスプレイに表示されます。どちらか一方だけを表示する場合は、最初の 23 文字が表示されます。ただし、表示名に関連番号がない機能タグ ([Conference] -&gt; [Alice] など) が含まれる場合は、このような文字数の制限はありません。</p> <p> <b>(注)</b> アクティブな通知アラートが複数ある場合、最新のビジュアルアラートによってその前のアラートが無効になります。ただし、ユーザがコールピックアップをアクティブにすると、電話機に現在ビジュアルアラートが表示されていない場合でも、ピックアップ可能な最も古いコールにユーザが接続されます。発信側または着信側の情報を表示しないビジュアル通知を使用することで、この矛盾を回避することができます。この設定を使用する場合、「コールがピックアップ可能」という汎用メッセージが表示されます。自動コールピックアップ (AutoCallPickupEnabled サービスパラメータ) が無効の場合は発信者の ID を取得できます。P.5-10 の「自動コールピックアップ」を参照してください。</p>
<b>[関連付け先コールピックアップグループ情報 (Associated Call Pickup Group Information)] : [番号 / パーティションでピックアップ番号を検索 (Find Pickup Numbers by Numbers/Partition)]</b>	
[パーティション (Partition)]	この表の [コールピックアップグループ情報 (Call Pickup Group Information)] の [パーティション (Partition)] を参照してください。
[コールピックアップグループ番号に含まれる (Call Pickup Group Numbers Contain)]	検索するコールピックアップグループの DN またはその一部を入力し、[検索 (Find)] をクリックします。
[使用可能コールピックアップグループ (Available Call Pickup Groups)]	<p>[現在の関連付け先コールピックアップグループ (Current Associated Call Pickup Groups)] 領域にある関連付け先コールピックアップグループリストにメンバを追加するには、このリストから DN/ パーティションを選択し、[関連付け先コールピックアップグループに追加 (Add to Associated Pickup Groups)] をクリックします。</p> <p>設定されたグループが自動的に [現在の関連付け先コールピックアップグループ (Current Associated Call Pickup Groups)] のリストに追加されます。これによって、[他 Grp] ソフトキーを使用して、ユーザがいるグループ内のコールを受け取ることができるようになります。</p>

表 5-5 コールピックアップグループの設定項目 (続き)

フィールド	説明
[関連付け先コールピックアップグループ情報 (Associated Call Pickup Group Information)] : [現在の関連付け先コールピックアップグループ (Current Associated Call Pickup Groups)]	
[選択されたコールピックアップグループ (Selected Call Pickup Groups)]	コールピックアップグループリスト項目の順序を変更するには、このボックスの右側の上矢印と下矢印を使用して、リスト項目を移動します。リスト項目の順序を逆にするには、[選択された番号の順番を逆にする (Reverse Order of Selected Numbers)] をクリックします。このボックスから [削除されたコールピックアップグループ (Removed Call Pickup Groups)] ボックスにコールピックアップグループを移動するには、このボックスの下にある上矢印と下矢印を使用します。
[削除されたコールピックアップグループ (Removed Call Pickup Groups)]	このボックスから [選択されたコールピックアップグループ (Selected Call Pickup Groups)] ボックスにコールピックアップグループを移動するには、このボックスの上にある上矢印と下矢印を使用します。

### 追加情報

P.5-34 の「関連項目」を参照してください。

## コールピックアップグループの削除

この項では、Cisco Unified Communications Manager データベースからコールピックアップグループを削除する方法について説明します。

### 始める前に

回線または電話番号に割り当てられているコールピックアップグループ番号を削除することはできません。このコールピックアップグループを使用している電話番号のリストを表示するには、[依存関係レコード (Dependency Records)] リンクをクリックします。依存関係レコードがシステムで使用できない場合は、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「依存関係レコードへのアクセス」を参照してください。これらの電話番号のコールピックアップを再び有効にするには、各電話番号を新しいコールピックアップグループに割り当て直す必要があります。詳細については、P.5-32 の「電話番号へのコールピックアップグループの割り当て」を参照してください。

### 手順

- ステップ 1** P.5-26 の「コールピックアップグループの設定」の手順を使用して、コールピックアップグループを検索します。
- ステップ 2** 削除するコールピックアップグループをクリックします。
- ステップ 3** [削除 (Delete)] をクリックします。

そのコールピックアップグループが [コールピックアップグループの検索と一覧表示 (Find and List Call Pickup Groups)] ウィンドウに表示されなくなります。

### 追加情報

P.5-34 の「関連項目」を参照してください。

## 他グループ コールピックアップのピックアップグループの定義

この項では、関連付けられたグループに対する着信コールに応答するために、ユーザのグループにコールピックアップグループを関連付ける方法について説明します。グループには、最大 10 のコールピックアップグループを関連付けることができます。関連付けられたグループのコールに応答する優先順位は、関連付けられたグループリストで最初に関連付けられたグループから最後に関連付けられたグループの順になります。表 5-1 の説明のように、[コールピックアップグループの設定 (Call Pickup Group Configuration)] ウィンドウのリストを編成できます。

### 手順

- 
- ステップ 1** P.5-26 の「コールピックアップグループの設定」の手順を使用して、グループを検索します。
  - ステップ 2** [コールピックアップグループの設定 (Call Pickup Group Configuration)] ウィンドウで、[関連付け先コールピックアップグループ情報 (Associated Call Pickup Group Information)] 領域までスクロールします。
  - ステップ 3** 表 5-5 の説明に従って、フィールドに情報を入力します。
  - ステップ 4** [保存 (Save)] をクリックします。
- 

### 追加情報

P.5-34 の「関連項目」を参照してください。

## 電話番号へのコールピックアップグループの割り当て

この項では、電話番号にコールピックアップグループを割り当てる方法について説明します。コールピックアップグループに割り当てられた電話番号だけが、コールピックアップ、グループコールピックアップ、BLF コールピックアップ、他グループコールピックアップ、およびダイレクトコールピックアップを使用できます。

### 始める前に

電話番号にコールピックアップグループを割り当てる前に、P.5-27 の「コールピックアップグループの設定」の説明に従ってコールピックアップグループを作成する必要があります。

### 手順

- 
- ステップ 1** [デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] または [コールルーティング (Call Routing)] > [電話番号 (Directory Number)] を選択します。
  - ステップ 2** コールピックアップグループに割り当てる電話機または電話番号を検索するための検索条件を入力し、[検索 (Find)] をクリックします。

検索条件に一致した電話機または電話番号のリストが表示されます。

- ステップ3** コールピックアップグループに割り当てる電話機または電話番号を選択します。
- ステップ4** [電話番号の設定 (Directory Number Configuration)] ウィンドウを使用している場合は、[ステップ6](#)に進んでください。
- ステップ5** [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウの [割り当て情報 (Association Information)] リストから、コールピックアップグループを割り当てる電話番号を選択します。
- ステップ6** [コール転送とコールピックアップの設定 (Call Forward and Call Pickup Settings)] 領域に表示される [コールピックアップグループ (Call Pickup Group)] ドロップダウンリストボックスから、割り当て先のコールピックアップグループを選択します。
- ステップ7** 変更をデータベースに保存するには、[保存 (Save)] をクリックします。

---

### 追加情報

[P.5-34](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

## 関連項目

- [コール ピックアップ \(P.5-1\)](#)
- [コール ピックアップの概要 \(P.5-2\)](#)
- [コール ピックアップ \(P.5-3\)](#)
- [グループ コール ピックアップ \(P.5-3\)](#)
- [他グループ ピックアップ \(P.5-3\)](#)
- [ダイレクト コール ピックアップ \(P.5-4\)](#)
- [BLF コール ピックアップ \(P.5-9\)](#)
- [自動コール ピックアップ \(P.5-10\)](#)
- [パーティションによりアクセスを制限するコール ピックアップ機能の使用 \(P.5-11\)](#)
- [コール ピックアップ通知 \(P.5-12\)](#)
- [コール ピックアップのシステム要件 \(P.5-12\)](#)
- [インタラクションおよび制限事項 \(P.5-14\)](#)
- [コール ピックアップのインストールとアクティブ化 \(P.5-17\)](#)
- [コール ピックアップ機能の設定 \(P.5-17\)](#)
- [コール ピックアップおよびグループ コール ピックアップの設定チェックリスト \(P.5-17\)](#)
- [他グループ コール ピックアップの設定チェックリスト \(P.5-19\)](#)
- [ダイレクト コール ピックアップの設定チェックリスト \(P.5-21\)](#)
- [BLF コール ピックアップの設定チェックリスト \(P.5-23\)](#)
- [コール ピックアップのサービス パラメータの設定 \(P.5-25\)](#)
- [コール ピックアップ グループの設定 \(P.5-26\)](#)
- [コール ピックアップ グループの検索 \(P.5-26\)](#)
- [コール ピックアップ グループの設定 \(P.5-27\)](#)
- [コール ピックアップ グループの設定項目 \(P.5-28\)](#)
- [コール ピックアップ グループの削除 \(P.5-31\)](#)
- [他グループ コール ピックアップのピックアップ グループの定義 \(P.5-32\)](#)
- [電話番号へのコール ピックアップ グループの割り当て \(P.5-32\)](#)
- 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「電話番号の設定」
- 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」
- 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「パーティションの設定」
- 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「ルート プラン レポート」
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「Time-of-Day ルーティング」
- 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「ソフトキー テンプレートの設定」
- *Cisco Unified IP Phone アドミニストレーションガイド for Cisco Unified Communications Manager* (すべてのモデル)
- Cisco Unified IP Phone のユーザ資料とリリース ノート (すべてのモデル)